

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	県立阿波岐原森林公園
指定管理者	マリンパークス
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指標	R4	R3	R2	増減理由等
阿波岐原森林公園 (単位:人)	66,472	63,904	68,877	新型コロナウイルス感染症対策に関する制限緩和等により利用者が増加した。
コメント	地域との連携を十分に図りながら特性を生かしたイベントなどを実施しているほか、利用者のニーズに沿ったジョギング大会やドッグラン事業を実施するなど利用者増加に繋がる事業を幅広く展開している。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R4	R3	R2	支出	R4	R3	R2
指定管理料	57,317	56,258	55,449	人件費	34,587	32,496	32,378
自主事業等	1,935	1,095	1,432	需要費・役務費	11,305	9,370	9,016
				委託料・使用料等	4,447	4,634	4,693
				経費	7,318	6,516	6,193
				自主事業等支出	1,733	1,007	840
合計(①)	59,252	57,353	56,881	合計(②)	59,390	54,023	53,120
収支差額(①-②)	-138	3,330	3,761				
コメント	パトロールと清掃の同時進行や大型機械での作業を行ったほか、ドッグランに監視カメラや利用受付管理システムを導入し、作業の効率化や事故防止を図った。また気象状況等を考慮し毎日の巡視結果を踏まえ随時工程を見直しながら効率的及び効果的な維持管理を行った。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、トイレ清掃、照明器具清掃
	保守・点検	照明点検(週1回)、浄化槽点検(月1回)、トイレ照明及び非常用装置点検(月1回)、排水設備点検(随時)
	警備	巡回パトロール(毎日1回)、管理事務所夜間機械警備、夜間パトロール
	修繕	照明灯LED化、空調設備交換、園路舗装修繕、園路歩道不陸修繕、東屋屋根取替・不陸修繕、案内板改修
	備品等管理	適正な利用・保守管理
	安全対策	安全管理会議(月1回)、危機管理体制マニュアルの整備、自衛消防訓練
	その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、施設維持管理業務(園路・トイレ・駐車場他)
企画運営業務	サービス提供体制整備	ドッグラン、レンタサイクル、レンタルグッズ貸出、各種マップ(公園周辺ガイドマップ、阿波岐原散策マップ、サイクリングマップ、神話マップ、春のツツ葉神話と花めぐりマップ)の作成・配布、パンフレット、「パークガイド」作成・配布
	イベント等ソフト面充実	花の無料配布、犬のマナー教室、植物無人販売、グリーン大作戦、宮崎シーガイアジョギングユニファイド大会、市民一斉ウォーキング、干潟で遊ぶ観察会、寄せ植え教室、植物勉強会、ファミリーガーデニングクラブ、春のツツ葉神話と花めぐりクイズラリー、野鳥観測会、環境学習プログラム、HP作成・更新
	施設設備等ハード面充実	ドッグラン施設の整備・受付システム導入、監視カメラの設置、レンタサイクル、番号付き案内板、公園管理事務所の無料Wi-Fi、津波避難誘導板の設置
	その他	憶地域まちづくり推進委員会の環境保全活動(入江清掃、江田川上流の外來植物除去)に参加、地域と協働して地域を花で飾る「春のツツ葉神話と花めぐり」の実施
管理運営体制	新規職員安全研修、職員技能講習開催、施設・植物管理技術資格取得講座受講、安全運転管理者講習、宮崎市消防局出前防災講座受講	
コメント	「クリーン大作戦」など子どもを対象としたイベントや、年齢を問わず参加可能な花飾り講習会やレンタサイクルなどをイベントを開催したほか、ドッグランを運営するなど利用者の増加に努めている。また、毎日のパトロールで利用者の安全確保に努めた。なお、年度末にはG7農相サミットに向けた環境整備を行った。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	自主事業時のアンケート調査
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
パークウェイ歩道に木の根による段差があり転倒した。	園路調査を実施し、年度協定の維持管理費で修繕した。
イベント調査時に利用者満足度調査を実施。	内容分析を行い公園管理に繋げた。

5 総合評価

評価コメント	森林公園の特性を生かしたイベントなどに積極的に取り組んでいる。また、必要な管理運営体制のもと、適正な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	周辺の施設(フェニックスリゾート社、フローランテ宮崎など)と連携した更なる事業の推進が求められる。